

クイーンズランドでは素晴らしい気候と生活スタイルに恵まれている反面、サイクロンや嵐、洪水などの自然災害も私たちの環境の一部として避けられません。このような災害が及ぼす危険を楽観できないのは歴史的に明らかです。

今すぐ時間をとり緊急事態に備えましょう。

- 緊急プランの準備
- 非常用品の準備
- わが家の準備

これらの簡単な作業で自然災害に備え、生き残り、影響を最小限にすることが可能です。

次の4段階を参考に緊急プランを準備しましょう。

1. お住まいの地域の災害危険管理対策を調べる

- 地域内でどのような危険が影響する可能性があるか？そのような危険に対する災害管理計画についての情報があるか？
 - 地域の図書館と自治体に情報や計画を問い合わせる。
 - 地域の自治体に地域警報システム、避難プロセス、指定避難経路について問い合わせる。
- 職場、学校、保育施設に緊急及び避難計画について質問する。自分の家族の緊急連絡先詳細が必要かどうか確認する。
- 緊急時に自分と家族がどのような地元の支援を利用することができるか？
 - 地元支援団体の連絡先を尋ね、緊急プランに記録する。
 - 家族の避難のため援助が必要になる場合、地域の自治体と支援団体からどのような援助が受けられるか確認する。

- 気象局（ホームページ www.bom.gov.au と電話サービス）が発表する気象警報についてよく理解しておく。
- 2. 想定される状況と対応について家庭で話し合う
 - 各々の危険と起こりうる状況について話し合う。
 - 各非常事態に、どのように行動するか？
 - 緊急事態発生時、どこにいる可能性があるか？
- 緊急事態の種類に応じて、連絡方法と集合場所を決めておく。
- 全員が標準緊急警報信号(SEWS)を知っており、この警報発令時にどうすべきか理解しているか？ SEWSに関する詳しい情報はホームページ www.emergency.qld.gov.au をご覧ください。
- 最新情報と警報を聞くために地元のABCラジオ局へ周波数を合わせる方法を全員が知っているか？
- 避難が必要な場合に備え、帰宅できない場合または自宅を離れなければならない場合どこへ行くかについて話し合う。
- 緊急時の集合場所2カ所を指定し、1つは自宅付近、もう1つは自宅周辺以外で全員が行きやすい場所にする。
- 同居していない家族、親戚または友人から2名を指定し（1人は地元、もう1人は州外）家族が離ればなれになった場合の緊急連絡先とする。この2名への連絡方法を家族全員が理解しておく。
- 家族の健康状態について話し合う。常用薬と用量を非常用品に含める。
- ペットのために必要な準備を話し合う。

3. 次のような重要事項を緊急プランに記録する

- 緊急電話番号と関連電話番号：トリプルゼロ(000)、132 500（州緊急サービス）、医療サービス、地元自治体、電気その他の供給業者、保険業者、緊急プランの親戚と友人。
- 家族全員の携帯電話番号と、職場、学校、保育施設、友人、隣人、緊急連絡先などその他電話番号。
- 指定した集合場所2カ所の詳細情報。
- 特定の健康状態、常用薬と用量。
- ペットの詳細情報 - 説明、写真、獣医の連絡先、薬。
- 地元ABCラジオ局の周波数 (www.abc.net.au/local/)、気象局ホームページ(www.bom.gov.au)と地域の気象警報に関する電話サービス
- 4. 家族全員が準備できているよう確実にする
 - 非常用品を準備し、安全で取り出しやすい場所に保管する。
 - 緊急プランを定期的に（年に3回）見直し練習する。
 - 緊急時にトリプルゼロ(000)へ電話する方法と場合を子供に教える。（携帯電話からは112）緊急事態が生死に関わり重大で深刻であると思う場合にのみトリプルゼロ(000)へかけてください。
 - 有効な応急処置証明を家族がもつようにする。一式揃った救急箱を非常用品に含める。応急処置の訓練と用具はクイーンズランド救急車サービス(www.ambulance.qld.gov.au)で提供しています。
 - 緊急プラン実行時に参照するための財布用緊急カードを家族全員に作成する。
 - 避難する際に電気、水道、ガスの元栓を閉める場所と方法、場合を全員が理解しておく。

- 緊急プランを冷蔵庫または家庭掲示板に表示し、コピーを家族、関係する友人、親戚、隣人に配り、非常用品にコピー1部を保管する。
- 自然災害について理解を深め地域の準備と対応を支援するため、州緊急サービス(SES)など地域緊急サービス団体への参加を検討する。

常に心がけましょう

防災準備に家族全員が参加し、リスクと緊急時に必要とされる適切な行動を全員が理解しましょう。

緊急プランの作成は緊急事態に家族が備え生存し対処するように準備するための重要な第一歩です。

緊急プランの保管場所を家族全員が知る必要があります。

緊急事態発生時の行動を家族全員が理解するため、数ヶ月ごとにみんなで緊急プランを練習しましょう。

このパンフレットは善意での情報提供のみを目的としています。緊急サービス省、クイーンズランド緊急管理局、州緊急サービスは、当パンフレットに記載の情報を信頼することに関してあらゆる人が被るもしくは受ける可能性のある、又は直接的もしくは間接的に発生する可能性のある、一切の損失及び損害（結果的に生じる損失及び損害を含む）について、あらゆる人に対しいかなる責任も負わないものとします。

緊急事態への準備に関する詳しい情報は www.disaster.qld.gov.au をご覧ください。

緊急プラン



家族の連絡先

名前	携帯電話番号	Eメールアドレス

家族が離ればなれになった場合または避難が必要な場合の集合場所

近所の集合場所	
住所	
電話番号	
Eメールアドレス	
遠くの集合場所	
住所	
電話番号	
Eメールアドレス	

指定緊急連絡先

近所の連絡者名	
住所	
自宅/職場の電話番号	
携帯電話番号	
Eメールアドレス	
市外の連絡者名	
住所	
自宅/職場の電話番号	
携帯電話番号	
Eメールアドレス	

主要インフラ供給 – 停止方法と場所

電気		
ガス		
水道		

重要電話番号

警察、消防、救急車	000 トリプルゼロ (携帯からは112)
州緊急サービス (SES)	132 500
地元の自治体	
電力供給業者	
地元の一般開業医または診療所	
病院	
動物医院	
保険業者	
保育施設	
地元小学校	
地元中高等学校	
職場	
職場	
気象局 (http://www.bom.gov.au/other/voice.shtml)	
友人	
友人	
隣人	
隣人	

医療情報

薬	必要な人と用量

自宅にいる場合に避難する場所は？ ペットが避難する場所は？

緊急プランの練習日 (年に3回) :

地元ABCラジオ局の周波数 :

- _____
- _____
- _____